



まちの話題



祝 千葉ユリ子さん長寿祝品贈呈式 笑顔で迎える 100 歳

千葉ユリ子さん（下平沢）が5月27日、満100歳の誕生日を迎えました。金ケ崎町で生まれたユリさんは、20歳のころに故・甬さんと結婚し、子3人、孫9人、ひ孫10人、玄孫1人に恵まれました。若いときは農業に勤しみ、田んぼや畑作業を行っていました。手先が器用で編み物をしており、今でもベストやひざ掛けを作っています。同日に金ケ崎温泉駒子の湯で行われた祝品贈呈式では、親族や関係者から祝福を受け、「玄孫に会うことが楽しみです。皆さんの支えにとっても感謝しています。」と笑顔を見せました。

親族や高橋寛寿町長に囲まれ、笑顔を見せるユリ子さん（前列左）



左から及川権一金ケ崎町ビーチボール協会会長、橋本昭治県ビーチボール協会会長、阿部祐土選手、高橋隼人選手、井面広明監督兼選手



仲 NEO（男子）男子チーム全国優勝 間とつかんだ栄光

金ケ崎町ビーチボール協会（及川権一会長）は5月15日、愛知県一宮市で3月22日～23日に開催された「第31回ジャパンカップビーチボール選手権あいち大会」で男子30才以上の部で、金ケ崎町として初めて全国優勝を果たし、その報告のため町長へ表敬訪問を行いました。及川会長は「胆江地区でビーチボールは活気を増してきている。更なる活躍のため、選手の練習できる環境を整えていきたい」と話し、井面広明監督兼選手は「仲間に恵まれ良い結果につながったと思う。今後もチームで精進したい」と笑顔を見せました。

誰 チャリティー☆してみたい fes かの希望の星になれる

チャリティー☆してみたいフェス（特定非営利活動法人希望の星主催）が6月1日、金ケ崎駅前で開催されました。チャリティー活動等に参加したことのない人や一歩踏み出せなかった人の「してみたい」という気持ちを実現させられるような場の提供とお手伝いを「してみたい」というイベント企画。希望の星 榊和也理事長は「イベントを楽しむことと同時にチャリティーへの意識を持ってもらえれば」と話しました。



多くの出店で賑わいを見せた

地域を散策し、自分が描く未来の金ケ崎を考察する生徒たち



見 金ケ崎中学校まちあるき学習 て聞いて学ぶ地域の良さ

金ケ崎中学校のまちあるき学習が5月29日に行われ、3年生が町内各地を歩きました。総合的な学習の一環で、自分たちが住む地域の現状を見ることや歴史を聞くことで、生徒が自分の将来や地域の未来を考えるきっかけを作ります。まとめ学習では、学んだことを個人でレポートにまとめ班で交流し合いました。

綺 金ケ崎高校クリーン作戦 麗な金ケ崎へ

県立金ケ崎高等学校（三森健校長）は5月23日、学校内外の清掃美化活動を通じて、地域に貢献するクリーン作戦を行いました。57人の生徒が参加し、駅付近や通学路のごみ拾いを実施。千葉昊さん、小川大悟さん、佐藤寛太さん（3年生）は「これからもごみが少なく綺麗な金ケ崎を保ち続けられれば」と汗をぬぐいながら話しました。



分別しながらゴミ拾いを行う生徒たち

快晴の中、作業を行った会員のみなさん



気 町シルバー人材センター草刈りボランティア 持ちよく走れる道を

町シルバー人材センター（高橋文人理事長）は5月23日、森山工業団地内で草刈りボランティアを行いました。同ボランティアは金ケ崎マラソン開催前に、参加選手が気持ちよく走れるようにとの思いで毎年行われています。今年は会員10人が参加し、森山ロータリー東側からトヨタ正門付近まで綺麗に草刈りが行われました。